

○福島県森林環境基金条例

平成十八年三月二十二日

福島県条例第三十九号

福島県森林環境基金条例をここに公布する。

福島県森林環境基金条例

(設置)

第一条 森林環境の保全及び森林を全ての県民で守り育てる意識の醸成に関する事業、森林の整備を担うべき人材の育成及び確保その他の森林の整備の促進に関する施策（以下「森林整備促進事業」という。）、市町村が実施する森林の整備及び森林整備促進事業の支援に関する施策並びに市町村が実施する森林の整備に関する施策の円滑な実施に資するための森林の整備に関する施策に要する資金を積み立てるため、地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百四十一条第一項の規定に基づき、福島県森林環境基金（以下「基金」という。）を設置する。

(令元条例三五・一部改正)

(積立て)

第二条 基金として積み立てる額は、ふくしま森林づくり県民税条例（平成十七年福島県条例第三号）第二条及び第三条第一項の規定による加算額に係る収納額に相当する額からその賦課徴収に要する費用を控除して得た額並びに森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律（平成三十一年法律第三号）第二十七条及び第二十九条の規定により譲与される額とする。

(令元条例三五・令七条例六五・一部改正)

(管理)

第三条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他最も確実かつ有利な方法により保管しなければならない。

2 基金に属する現金は、必要に応じ、最も確実かつ有利な有価証券に代えることができる。

(繰替運用)

第四条 知事は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間その他必要な事項を定めて、基金に属する現金を歳入歳出に属する現金に繰り替えて運用することができる。

(純益金の処理)

第五条 基金の管理から生じた収益の額が基金の管理に要した経費の額を超過した場合におけるその超過する額に相当する額は、これを基金に編入するものとする。

(益金等を計上すべき予算)

第六条 基金の管理から生ずる収益及び基金の管理に要する経費を計上すべき予算は、一般会計の歳入歳出予算とする。

(委任)

第七条 この条例に定めるもののほか、基金の管理その他この条例の施行に関し必要な事項は、知事が定める。

附 則

この条例は、平成十八年四月一日から施行する。

附 則 (令和元年条例第三五号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (令和七年条例第六五号) 抄

(施行期日)

1 この条例は、令和八年四月一日から施行する。